

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 809 事業名 生徒指導補助員配置事業

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	1	学校の教育力の充実
取組		

事業種別	新規	主な事務事業	
事業期間	H24	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	教職員課	勝本 泰弘 (435-1196)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		県支出金	
	項		県補助金	
	目		教育費補助金	
	大事業		教育総務費補助金	
事項		生徒指導補助員配置事業		

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	学校において、よりきめ細かな児童生徒指導ができる状態にするために、非常勤職員を配置する。教員が児童生徒にきめ細かく対応できる時間を確保することで、小中学校における生徒指導、学習環境整備、個別指導を充実する。	各学校の事情により必要性のある学校に、非常勤の生徒指導補助員を配置する。児童生徒の問題行動に対して、緊急対応を行ったり、発達障害等により個別の支援が必要になった子どもたちを総合的に支援し、生活や学習上の困難を改善する補助を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
					生徒指導補助員を配置するとともに、有効活用について学校を指導した。	生徒指導補助員を配置する。

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費							31,647	29,263	31,561	
伸び率 (%)	-	-	-	-	-	-			-0.3%	
人件費	常勤職員						1,984	1,984	1,984	
	非常勤職員									
	小計						1,984	1,984	1,984	
国庫支出金										
県支出金							31,489	29,263		
市債										
その他							158	29,105	132	
一般財源 (税等)							0	0	31,429	
所要人数	常勤職員						0.27	0.27	0.27	
	非常勤職員									
主な予算内訳	共済費 4,713千円 賃金 26,440千円 旅費 408千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
活動指標	生徒指導補助員配置数					年度目標値			17	17
						実績値			17	
	単位	人	全体目標値	17	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度		100.0%	
					年度目標値					
成果指標	ヒアリングにより配置してもらって良かったと答えた学校の数					年度目標値			23	
						実績値			23	
	単位	人	全体目標値	23	全体目標達成度	100.0%	年度別達成度		100.0%	
					年度目標値					
				年度目標値						
				実績値						
単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	生徒指導補助員の配置により、学習環境が整い、落ち着いて学習に取り組めるようになった等、学校現場から受ける定期報告の内容は大変好評である。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	発達障害のある子どもたちの支援を含め、総合的な生徒指導が充実するよう、生徒指導補助員の増員を検討したい。